

ふりがな 氏名	なぐら としお 名倉 俊雄	都道府県 東京都	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・慶応義塾大学経済学部 Professional Career Program ・NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会 ユースワーカー 		
私のESD活動	Think Globally, Act Locally を軸に持ち、学術研究と現場での活動の二つのアプローチでESDに励む		

活動の概要

私はESD活動において2つの軸を持っている。1つ目の軸はThink Globallyで、日本で良く知られてない世界の持続可能な開発の活動に関して大学で研究を行い、論文執筆や学生会議への参加を通して認知度を上げる事である。具体的には、垂直型基金という疫病や気候変動といった持続可能な開発に必須な分野を支援する枠組みに関して研究を行っている。私は垂直型基金に関する日本語文献の少なさにショックを受け、自身で海外の先行研究を整理し、発展させることで日本での認知向上に貢献する事を目標としている。アメリカのパリ協定離脱が大きなニュースになっているが、同時にトランプの緑の気候基金への対応も注目を集めている。私は、自分の研究を通してこういった持続可能な開発に関する議論への日本の市民レベルでの理解促進と意見形成をサポートしたい。また、論文を書くだけでは多くの人に伝わらないので、8月には神戸で行われる国際ユース会議に参加し、世界中のユースと気候変動対策のあり方に関する議論を行う予定である。

2つ目の軸はAct Locallyで、ボランティアとして引きこもりの子供を支援する事である。私は、この活動を通して、思春期の子供がより自信を持って他人と関わる事ができるようにサポートしたいと思っている。また、経済的な理由等で望んだ教育が受けられない子供も助けたいと考えている。ESDを広めるためには個人同士のつながりが大事であるとの考えのもと、2つ目の活動を進めている。

今後の活動や協働への展望

私は大学卒業後米国の国際関係大学院に進学したいと考えている。私は過去に米国の高校に通った事や、米国の企業でインターンをした事があるが、その時は常に自身が日本代表であるとの考えを持ちながら振る舞う事を心がけていた。今回の留学でももちろん、ESD日本ユースの一員として海外に新しい風を吹かせたいと考えている。

私は、今回のカンファレンス参加を通じて、2つの事を実践したいと考えている。まずは、アメリカに世界中から集まるESD実践者と活発な議論を交わし、他地域、他国、そして世界レベルでのESD活動の発展を目指す事である。ESD日本ユースとして海外に行くならば、今回の会議で国内の最先端のESD事情を知る事は非常に重要である。また、他国のESD実践者とともにアメリカでESDを進めるプロジェクトを立ち上げたいと考えている。その過程で、各国のESDに対する考え方やノウハウを交換できれば良いと思っている。

もう1つは、海外のESD実践者から学んだ事や、得たネットワークを日本会議で出会った仲間に還元する事である。日本ユースの一員として海外とのパイプの役割を果たしたい。大学院進学までは会議で出た課題に他の参加者と共に取り組み、繋がりを強めたい。

大学院卒業後は、国際機関で働く事も考えている。ESDを促進する側である国際機関で世界の最先端を学び、最終的には米国大学院や国際機関で学んだ事を還元するべく、ローカルなレベルでESDに関わっていきたいと考えている。